

早島町 議会だより

平成30年 第61号
9月1日



Contents

6月定例議会概要	2 P
常任委員会	3 P
議会活動報告	4 P
一般質問	5～13P
行政委員紹介	14P

まち・ひと・しごと総合戦略 国家公務員の受け入れが決定

平成30年度6月定例会議は6月5日から6月13日までの9日間の会期で開催され、補正予算など13議案を可決しました

一般会計補正予算

平成30年度一般会計補正予算は歳入歳出それぞれ1824万1千円を追加し、総額は47億9924万1千円となりました。

歳出の主なもの
・人件費 988万8千円、国家公務員受け入れによる人件費補正等

特別会計補正予算

平成30年度早島町介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第1号）

422万1千円追加、総額11億2474万9千円

平成30年度早島町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

677万7千円追加、総額5億4253万9千円

平成30年度早島町水道事業会計補正予算（第1号）

条例改正等

・早島町職員等の旅費に関する条例の制定
・早島町情報公開条例の一部を改正する条例

・町税条例の一部を改正する条例

・早島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

・早島町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

専決処分の承認

・和解及び損害賠償額の決定

・町税条例の一部を改正する条例

・早島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

人事案件

早島町農業委員会委員の任命

真鍋 和 崇

栗坂 一 郎

佐藤 和 夫

佐藤 一 義

佐藤 周 二

澤田 晃 始

林 正 勝

原 笠 太

日 笠 夫

安原 輝 夫

6月定例会 採決状況

○賛成 ×反対 議長（福田 健） 議長代行（古田敬司） は採決に加わらない。

議案	小池 宏治	平岡 守	佐藤 政文	佐藤 智広	松森 京子	真鍋 和崇	佐藤 眞治	浅沼 一徳	議決結果 (賛成：反対)
議案第41号 平成30年度早島町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	×	○	○	可決（7：1）

他、議案は全会一致で可決。

防衛省職員8月より2年間早島町の理事として常勤勤務

▼総務厚生常任委員会

議案審議の主なもの

◆早島町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正について

Q…改正前は資格を有するものであったが、改正後は教育職員免許を有するものとなっているが違いは。

A…学校教育法の規定により教諭という規定しかなかったために明確にした。

Q…5年以上放課後児童健全育成事業に従事したものは。

A…基本的には町の面接にに応じて運営に支障がないものを採用。

◆平成30年度早島町一般会計補正予算(第1号)について

歳入

Q…総務費の寄付金はなにか。

A…中学校がボランティア活動授業の一環で募金活動をした。

Q…過去実施したことがあったのか、また継続はするのか。

A…今回初めてであり、今後はわからない。

歳出

Q…防衛省から国家公務員が派遣されるが、給与、役職はどうなるのか。

A…役職は総合政策監を兼ねて理事(常勤勤務)、人件費は8月から今年度600万円の予定で全額、町からの持ち出しになる。

Q…業務内容は。

A…副町長と共に、町長の補佐役として行政全般を統括していく。

Q…詳細は。

A…計画的な市街地整備を行うことを目標に、市街化区域拡大、農地等の土地利用展開に関して国・県との協議をリードしていただく。

Q…国家公務員の総合政策監と副町長のすみわけは。

A…政策監は各課の事業の掌握をして調整、実務をする。

◆総務厚生常任委員会に付託されたその他の5議案については原案の通り可決すべきものと決した。

中学校駐輪場ブロック塀の撤去・付け替え

▼建設文教常任委員会

議案審議の主なもの

◆平成30年度早島町一般会計補正予算(第1号)について

Q…農業振興費の修繕料50万円の内容は。

A…ふれあい農園のベンチとテーブルが古くなったので、塗りなおす。また手すりを修理する。

農園開設以来、年数が経過しており、今後施設管理の在り方を見直しや、全体の修繕を計画的に行う事を議員から要望した。



ふれあい農園のベンチ



中学校駐輪場のブロック塀

Q…コミュニティハウス管理費の機械器具費43万1千円の内容は。

A…いぶき荘のエアコン取り替え。

Q…中学校費で学校管理費の修繕料200万円の内容は。

A…中学校南部のブロック塀が危険なため撤去並びに付け替え。

◆建設文教常任委員会に付託されたその他の2議案については原案のとおり可決すべきものと決した。

議会活動報告

第8回コンパクトタウン議会サミットに議員9名参加

観光で光り輝くまちづくりをテーマに意見交換

平成30年5月22日から23日にかけて第8回全国コンパクトタウン議会サミットが大阪府田尻町で開催され、早島町から議員9名が参加した。

開催地の田尻町は関西空港の中央部が属し、空港島を除く実質面積は2.35km²、日本で一番小さなまちで財政力指数は1.30全国で12番目の上位に位置し、地方税不交付団体になっている。

今回のサミットには全国16の町の議員134名が集い、「観光で光り輝くまちづくり」をテーマに開催された。

初めに中尾清大阪観光大学名誉教授から「インバウンドと観光によるまちづくり」と題して観光立国としての条件、観光の定義、観光の効



2018/ 5/22

果などについて熱心な講演があった。その後、16のグループに分かれ、ワールドカフェ形式で議員間の意見交換を行った。サミットを通じて夢を描き語り、実現に向けて一歩でも前進すれば、早島の未来は素晴らしなものになると確信する研修であった。

全国コンパクトタウン議会サミットとは

全国で町の面積 20km²以下の地方自治体(全国 64 自治体)の議員が集まり、「ちいさくてもキラリと光り、頑張るまち」を目指して、お互いが課題や政策を話し合い、交流を深める研修会

議会活動一覧 [平成30年4~6月]

19 11 5

火 月 火



6月定例会〔5/13日〕
農業委員会
全員協議会

31 29 28 25 23 22 20 11

木 火 月 金 水 火 日 金



農業委員会
岡山県消防操法訓練大会
全国コンパクトタウン議会サミット
全国コンパクトタウン議会サミット
議会運営委員会
全国町村議会議長副議長研修会
全国町村議会議長副議長研修会
全員協議会

13 12 11 10

金 木 水 火



農業委員会
早島小学校入学式
早島中学校入学式
早島幼稚園入学式



佐藤 眞 治議員

問

“お休み場” 交差点を横断する人の安全対策は万全か

答

信号機設置は難しい。看板設置ライン補修で安全確保に努める

問 通称 “お休み場” と言われている弁財天の4差路は、東西に通っている県道、二間川筋から県道に入る町道、北から県道に入る細い道が交わっている。

カーブになっていいる所を北から県道を横断するようになっている。西から来る車は非常に見にくく横断するタイミングがとり難い。カーブミラーはあるが遠近感、距離感がつかみ難い。

生活道路でもあるので横断する人がいる。信号機の設置は。

答 副町長 平成24年度に町はライン施工、県はカラー舗装による通行帯の明示など交通安全対策を図ってきた。道路の形態などから危険を拭い去るまでにははいっていない。

信号機の設置は横断する人の待機場所・車の停車位置の設置や道路幅員の拡張や道路線形の改良など交差点を全面改良しないと困難。交通安全を促す看板の設置やライン補修を行い、安全確保に努

める。



信号機がほしい“お休み場”交差点

蛍光管の完全に安全な収集方法はできているのか

問 30年7月から毎月第3土曜日に取りサイクル回収を行い、自治会・行政連絡会議やごみ減量化推進委員会等で徹底し、チラシの配布等も今検討していると言われた。

先月の広報に収集方法について書かれていたが、一般常識のことしか書かれていなかった。ある程度の時期までのごみ減量

化委員さんに、指導・監視をお願いすべきでは。

5月8日の自治会・行政連絡会議の資料に、水銀を使用した蛍光灯などの捨て方について載せていたが、回覧で回すよう言われたのか。また各家庭に貼っていたかどうかが必要と思うが。

答 副町長 水保条約が発行、廃棄物の処理・清掃に関する法律等が改正、水銀を適正に処理し汚染の防止を推進することになった。7月から不燃ごみと分別し、第3土曜日にリサイクルステーションで回収するので皆様に周知し、ご協力をお願いしている。

町民への周知の方法としては広報紙・ホームページに掲載し、チラシを全戸配布することにしておりごみステーションにも掲示する。ごみ減量化推進委員さんには周知の手伝いや、できる範囲での確認をお願いする。各家庭には保存用冊子として、家庭のごみ出し方ワンポイント集及び家庭のごみ出し方を今年度中に改定し配布する。

災害時のための土のうステーションの増設について

問 平成25年に南グラウンドの北側に防災倉庫を整備し、防災機器を



増設が望まれる土のうステーション

備え常時300袋の土のうを確保することができるようになった。その後、町内に土のう40個入りのステーションが、防災倉庫前に2基、消防団6部機庫に1基、7部機庫に1基設置された。消防機庫地内で可能なところは設置すべきと思うが。

答 副町長 土のうステーションは自助の目的を果たす設備と考えている。周辺の人があいつでもその場所に行けば土のうがあるという状態にしておく必要がある。

民地を活用する場合は移設の可能性もあり、いつでもその場所という状態を保つことはできない。

自治会等の身近な場所に設置を希望される時は、地権者と協議をして設置又は移設の折り合いがつけば、町としても前向きに取り組むが町からアプローチはしない。



浅沼 一徳 議員

小中学校プログラミング教育について

問 文科省は、2020年から
の新学習指導要領にプログラミング
教育の必修化を盛り込むことを
発表しており、必修化に向け当町
においても、プログラミング教育
に対し十分な準備が計画されてい
ると思うが現段階でプログラミング
に関する教育としてどのような
取り組みを行っているのか。

答 教育長 中学3年生の技術家
庭科においてプログラムによる計
測制御の単元で、計測や制御の仕
組み、プログラムの役割、情報処
理の手順、プログラムの作成など
を学習している。小学6年生の理
科、電気の働きの授業で人感セン
サーとタイマーを用いて命令プ
ロックを組み合わせ一定の条件の
もとで照明が点灯する学習に取り
組んだり、5年生の理科、流れる
水の働きの授業で、川の周りに住
む人を守るための護岸工事に向け

問

学習指導要領改訂に伴い、どの
ような人材を育成していくのか

答

新たな価値を生み出していく
力を育てていく



実験と修正を繰り返し、安全な川
にするために計測・制御する学習
に取り組んでいる。

問 学習指導要領の改訂では、プ
ログラミング教育は技術を学ぶだ
けでなく論理的なプログラミング
的思考を育むと言われているがど
のように考え、取り組んでいくの
か。

答 教育長 プログラミング的教
育は総合的な学習の時間や算数、
理科などの教科、特別活動等の授

業で実践していきます。例えば算
数科において、正多角形を作図す
る学習活動に取り組むことで、正
多角形の性質をより確実に理解す
るなど、プログラミング的思考を
育成することで算数科の学びをよ
り深めていきます。自分が意図す
る一連の活動を実現するためにど
のような動きの組み合わせが必要
か、一つ一つの動きに対応した記
号をどのように組み合わせたら
いいのか、どのように改善すればよ
り意図した活動に近づくのかと
いったことを論理的に考えていく
力の育成に取り組んでいく。

SDGs 持続可能な
開発目標の推進について

問 国連加盟国が2030年末ま
での達成を目指す持続可能な開発
目標SDGsが注目され、地方自
治体や民間企業でその理念を施策
や事業に取り入れる動きが活発化
している。誰ひとり取り残さない
持続可能な世界の達成を目指す17
項目からなる国際目標でその中に
は、町政と関係の深い目標が数多
くある。町政運営のさまざまな局
面にSDGsの理念、目標を学び
取り入れていくことは大変重要で
あると考えるが、認識と見解につ

いて伺う。

答 副町長 SDGsの目標は町
行政として推進すべき方向と一致
するものもあり、誰もが豊かさを
実感でき住み続けたいと思うまち
の実現に向け、SDGsの考え方も
参考にしながら、引き続き各種
施策を進めていく。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD





佐藤 政文 議員

問 高さ制限のある景観計画の見直しについて

答 一律15メートルが適当かどうか今年度中にめどを立てる

問 幾度も一般質問している高さ制限のある景観計画の見直しは。平面積の狭い早島にとって、人口増になり、大きなメリットのあるマンションの建設も前向きに考える必要があるのではないか。

住みたい街とはどんなところか調べた結果、「リクルート住まいカンパニー」という会社から、2018年の「住みたい街ランキング」が発表されていた。ライオンナップ上位の特徴としては、交通利便性が高い街であることが挙げられる。トップ10の顔ぶれを見ると「一戸建て」エリアというよりも「マンション」エリアが目立つ。上位にランクインした要因として、平均年齢の上昇も考えられる。住宅購入層としてシニア層の存在感が高まる中、幅広い年齢層に支持される街が上位に来ている。これからの住みたい街は、「大人」の視点が重要視されるのではないか。

いる。官民協力で、快適なマンションができればと思う。例えば、1階にコンビニが入れば、近所の人や通勤者も便利になるのではないかと。民間業者が利益が出ると判断した場合、不可能なことではない。



早島駅前

答 町長 景観計画は平成19年3月に策定された。将来の都市像をやさしさと希望に満ちたまち早島とし、誰もが住み続けたくなるま

ち、魅力と活力に満ちた交流のまちを目指す。駅の東西にはまだ調整区域があり、現在はその地区の市街化区域への編入に取り組んでいる。現在行っている景観計画の見直しについては、魅力の創出につながる計画となるように、高さ制限が適正かどうかを含めて大学の先生などの知見を活用して、今年度中にめどを付けたい。

観光センターの利用促進について

問 観光センターは補助金の関係で自由に使用が難しい施設だが、有効活用したい施設であることは間違いない。民間委託を町は考えているが公募した結果はどうだったのか。

また、東蔵は町内グループに限り利用可としたが、ほとんど申し込みがないがなぜか。日中係員がついてないといけないというとても負担の大きい条件があるから。なぜこんな無茶な条件があるのか理解できない。一度テストパターンとして個人にも利用できるようにすればもつと活用できる。利用については、本人が1日中警備してもいいし、自己責任で展示だけでも良いとすれば、利用者はふ

える。ある施設をもつともつと有効に活用すべきだ。

答 町長 多彩な行事を通じて多くの人に観光センターを訪れていただき、交流を促進しにぎわいを再生する。現在民間業者による指定管理者制度の導入に向け取り組んでいる。



観光センター

答 まちづくり企画課長 指定管理者制度の導入については、検討を進める条件整理ができた状況。東蔵の利用は、利用者による管理が妥当であると考えます。



平岡 守議員

問

駅以北の調整区域解除の進捗状況を問う

答

市街化編入にはいくつものハードルはあるが着実に一歩ずつ進める

問 第4次総合計画の中、駅以北の調整区域解除について以前から努力していると言われているが、現在までの市街化に向けての進捗状況を尋ねる。

答 町長 早島町では立地適正化計画に準じ都市構造再編計画を平成28年度から策定中。早島駅の東西を市街化区域に位置づけたいと考え、立地適正化計画を踏まえた独自の計画をしている。市街化編入にはまだ幾つものハードルがあるが、着実に一歩ずつ進めていく。

国道2号線以北は物流倉庫で埋め尽くされつつあるが生活環境はどうするのか

問 現在国道2号線以北は物流倉庫、トラックターミナル等で埋め尽くされつつあるが、町は自主財源が増えることにより事業費の確保につながっていくが、町民の生活環境の問題が提起される。2号線以北には生活に必要な各種店舗がない。将来的に高齢者が増える



ハローズ本社付近

中、生活環境の悪化は避けることはできない。町として積極的に商業施設、店舗等の誘致に対し本腰を入れ動かないと2号線以北の生活環境の改善はできないと思うが。
答 町長 バランスのとれた町にしたいとの考えはあるが新産業エリア、インターチェンジ周辺は市街化調整区域であり、その中での開発というのは色々規制がある。商業施設が来ればありがたいとは考えているが、調査の結果で採算が取れない、土地がない、ハローズさんからも難しいとは聞いている。バランスのとれた町にな

るよう力を尽くしていく。

町長就任後、まもなく3年がくる。まちづくりを進める意味で町長自身の評価は

問 町長は就任して間もなく3年となるが、この3年間でご自身の評価をどう考えているのか。まちづくりの計画、第4次総合計画に基づき実施計画を進めるにあたり自己評価をお尋ねする。

答 町長 28年の町民アンケート結果では早島町にずっと住み続けたいとの回答が約9割と住民意向に沿った町政運営に取り組んできた結果と受け止めている。今後とも施策の展開に当たっては優先的に取り組んでほしいと言われた子育て支援・保健・医療・高齢者福祉の充実を柱とし町民の皆様が安全・安心して暮らせ、豊かさが実感でき、いつまでも住み続けたい町の実現に向け取り組んでいく。

選挙投票所の増設提案3度尋ねる

問 平成26年より、今回で3度目の質問だが、現在までに選挙管理委員会に報告、提案をしたのは聞いているが、その後の結果はない。過去早島町は人口6千人程度で

あったが、現在は約1万2千500人、有権者数は選挙権が18歳以上になったことにより1万人を超えている。

このような実態を踏まえ、利便性、政治への関心度アップを図るためにも2号線以北に2か所程度の投票所を設置し投票率のアップ、またスムーズな投票ができるように早急に考える必要があると思う。このままだと有権者からは選挙管理委員会はやる気がないのかと言われつつある気がかか。

答 選挙管理委員会事務局長 投票所に使用できる施設が非常に少なく、現在では投票区を分けて行うことは困難である。しかし、選挙管理委員会においても有権者数が1万人を超え、非常に多くなっているため投票区の分割はしないというものではない。



唯一の投票所の小学校



松森京子議員

問 女性視点の防災ブックの作成を
求める

答 女性用のマニュアル作成は県へ要望、本町のものは改定時、女性の視点項目等取り入れる

問 近年大規模な自然災害が頻発し、最前線に対応する自治体の防災力向上が不可欠となっている。

一、当局は今後南海トラフ巨大地震が懸念される中、防災士資格取得者数の目標は持たれているか。

二、防災士に対して期待するとは何か。

三、東日本大震災の経験を教訓として、女性、教職員の方にも防災士の資格を啓発されたい。

答 町長 一、各自治会に少なくとも1人を目標にしている。

二、防災士に期待するところは、日ごろからの災害に対する備え、防災、減災に関することなど、自助、共助を中心に地域の方への啓発、また災害時には知識や技能を生かし、地域のリーダーとしての活躍を期待する。

三、町内では防災士10人位であるが、補助制度は1地域1名に限らず数名の方が取得できる。女性の方もぜひ取得していただきたい。

する可能性があり、当面は簡易便器式トイレや、既存の便器を活用してできる袋式トイレなどで対応する。

問 町長の答弁に「知識や技能を生かし地域のリーダーとしての活躍を期待する」と言われた。

以前にも質問したが、勉強会はしているのか。

答 総務課長 勉強会はしたいが、そこまでには至っていない。

生徒に専門家のがん教育を

問 大切な命を守るがん教育を子供のうちから専門的に教え、理解してもらおうことが大切。がん教育を推進するべきでは。

答 教育長 自他の健康と命の大切さについて学び、ともに生きる社会づくりに寄与する資質や能力を育てていきたい。

新学習指導要領の趣旨を踏まえ外部講師の活用や教員研修に取り組み、健康教育の一環としてがん教育のさらなる充実に努める。

子宮頸がんワクチンの取組み

問 現在使用可能なHPVワクチンは、子宮頸がんの約6割〜7割を予防できると考えられている。

本町の今後の取り組みは。
答 町長 国の方針に合わせて、積極的な勧奨は控える。

接種する場合はワクチン接種の有効性と副反応を十分理解した上で接種することを周知していく。

医療用ウィッグの支援

問 がん患者さんの中には、ウィッグを使うことで前向きに日常生活を送れるなど、よい影響を与えることが多い。

しかしウィッグは高額であり、簡単には入手できないがために孤立感を抱いている方も多い。支援を検討してはどうか。

答 町長 今のところ補助制度の問い合わせはない。

今後県下の取り組み状況を調査研究していく。

胃がん検査の受診率は

問 胃がん検査の受診率と検査方法は。

答 町長 本町では40歳〜69歳までの受診率が7%程度。

県平均が8%。

本町は29年度から選択肢を増やし、内視鏡検査を取り入れた。今後受診勧奨を強化し、受診率向上に努める。



真鍋 和 崇議員

問

『管理職の管理職』防衛省の職員受け入れは必要か

答

行政全般を統括してもらいたいと考えている

問 8月から防衛省職員の派遣を受ける。今年度(8~3月)だけで600万円もの町長に匹敵する人件費を支出し、各課長を統括させる。なぜ国から呼ぶ必要があるのか。現行計画との整合性は。

答 町長 新たなコンパクトで効率的な都市空間、定住空間を形成するため。

問 全く明確になっていない。今町で足りないのは現場の職員さんの人手だ。不明確な目的で2年の期限つきで各課を統括する『管理職の管理職』をつくるより、その人件費があれば将来有望な若い職員をふやすほうが有効だ。

職員の退職問題の総括を

問 3月末に6名もの職員が退職をされた。町長の就任以来、中途退職は合計8人だ。町としての原因と課題認識を問う。

答 町長 退職は個人が決定したことだ。

問 偶然重なっただけというのはおかしい。未来ある職員の方々が早島町を見限ってしまう組織ではないか。町役場の責任者として総括を行う責任があるのでは。

答 町長 私の先輩も定年前で辞めた方もいる。

問 総括は必要だ。職員の働き方に問題があったのでは。退勤記録後からパソコンのシャットダウン時刻とのかい離は把握しているか。

答 総務課長 していない。

問 管理職の勤務実態の把握は。総務課長 把握できていない。

答 町長 県・近隣市町村の動向も含め検討する。

要望 責任者は国でも県でもなく町長だ。「周辺を見ながら」は違う。住民サービスの低下を招かぬために、がんばる役場職員が報われる総括と改善策の構築を。

子どもがいきいきと育つ環境を

問 子どもたちが生き生きと遊ぶことを補助し環境づくりを行うことを目的とするプレーリーダーの配置を求める。

備前市はNPOが運営する『森の冒険ひみつ基地』に配置をして子育て支援を行っている。

答 町長 遊びの体験を補助するために配置を検討する。

町独自で介護・福祉の充実を

問 「安心して介護・福祉を受けられるようにして」「特養ホームに入れない」など身近な福祉の充実は住民の願いだ。総合事業・地域包括ケアシステムの課題は。

答 町長 認知症、経済的困窮、家族の障害など、複合的な問題を抱える困難事例が年々増加している。迅速に対応できる体制や地域の見守りが求められる。

問 国は25年度に『重度な要介護でも住みなれた地域で暮らし続けられること』を目標に、生活支援、

介護予防は老人クラブや自治会等を担い手に位置づける。

しかし高齢者の方々は在宅生活の中でヘルパーやデイサービスが命綱の人達も多くおられる。今後現行サービスを維持した上で、地域の力を引き出していくこと。

答 町長 続けていく。その上で身体介護を伴わないサービスの幅を広げていく。その担い手としてシルバー人材センター・社協と相談し、受け手を育てつつ実施する。

問 地域包括支援センターの業務は多岐に亘るが、現在は健康福祉課の課長補佐が責任者を兼務している。体制の強化が必要だ。

また、国は18年度介護保険法改定でケアプランの自己負担が検討されている。利用者を介護から遠ざけることに繋がる。有料化させないために手を尽くすこと。

答 町長 町村会や県を通じ要望する。包括の体制は十分今の状況で対応できている。





転作水田等、生産条件を改良することも基盤整備だ



佐藤 智広 議員

農地の基盤整備を

問 早島町は都市農業基本法の対象地域に該当すると思われる。であるとするれば、国の策定する『都市農業振興基本計画』を基に、町独自の計画を策定し、公表しなければならぬはずだが。

答 建設農林課長 その計画は策定していない。今の早島の農業を考えていくうえで、必要かどうか検討したい。

問 4次早島町総合計画や早島町都市計画マスタープランにおいて

問

質の高い農業経営への転換を図り、持続可能な『農業』を

答

今後、地権者や生産者と話し合いをしていく

は、JR 駅南の農地は、緑豊かな優良農地として位置づけられている。しかし、現在の水稻栽培では、人件費外の経費を差し引くと1反でわずか2万8千円の収入しかない。これでは、農地の保全どころか、農業の安定的な継続を図ることはできない。

転作水田等、生産条件を改良し、質の高い畑作経営への転換を図り、持続可能な『農業』の実現へ向けて行動を起こすべきではないのか。

答 町長 農業を続けるという人が3分の1しかない、という現在の状況では判断しかねる。

問 ないという回答も33%だ。このうち半分の人が農業を継続すると言え、全体の半分以上になる。まだ農業に対して意欲を持っていない人は、潜在的にいるはずだ。

国はTPP等の関連農村整備対策として、水田の畑地化、畑地・樹園地の高機能化等の推進を行っている。こうしたことも念頭に入れ、

農地の基盤整備を検討すべきだ。

答 町長 今後、地権者や生産者と話し合いをしていきたい。

目視や感覚よりデータ

問 職員がオンラインによるストレスチェックを65人が受診し、うち7名が医師面談を受けたと聞いたが、その後どのような措置をしたのか。

答 町長 医師の就業上の措置にかかわる意見書に基づき必要とされる措置を実施している。

問 各自治体では、残業縮減を目的に人事管理システムの改修やPC強制終了を実施してその成果をあげているが、本町の働き方改革の成果はあがっているのか。

答 町長 水曜日のノー残業デーや20時退庁の徹底を行い、徐々に効果が表れているようだ。

問 水曜日のノー残業デーや20時退庁は、目視や感覚だけでなく、具体的なデータをとって管理すべきではないのか。

答 町長 そこまでの管理は難しい。課長会議等で徹底させる。

フリーWi-Fiの整備

問 コミュニティ施設及び小中学校へのフリーWi-Fi整備計画



町内の新しい通信インフラ「フリーWi-Fi」

の進捗状況は。また、公民館等への設置は検討しているのか。

答 副町長 今年度中の整備を予定している。とりわけ、小中学校体育館など、総合防災訓練の会場となる施設については、訓練に合うようスケジュールを組んでいる。

問 Wi-Fiは、災害時の通信手段としてもそうだが、土曜学級、さらには観光振興としての活用も考え、新しいコンテンツの制作を考えてはどうか。

答 まちづくり企画課長 観光センターやいかしの舎には既存の情報コンテンツがある。今後、観光情報ほか、Wi-Fiを利用して、早島町から様々な情報発信をしていきたい。

以上の質問以外に『生涯学習推進について』教育長に尋ねた。



古田 敬司 議員

問

ぞうさん広場に日陰用テントの増設を

答

利用者の意見を参考に早急に検討する

問 公園の利用促進を図るためには機能、目的、役割を明確にして利用者の満足度を高め、憩いと安らぎの空間を確保する必要があると総合計画でうたわれている。

ゆるびの舎の北側に隣接するぞうさん広場は生涯学習課が所管し日々清掃・施設管理をされているが、この広場は、幼・保育園児送迎において多くの親子連れが利用し、また若いお母さん方の憩いの場、たまり場になっており、情報交換の場ともいえる。

しかし、この広場は一部テントはあるものの日陰が少なく、テント増設の声が上がっている。4年前、テントが設置されていたが、台風で飛ばされ、修復もないまま現在に至っている。

本年度ゆるびの舎開館20周年を記念して落語会が開催されるが、あわせて20周年の一環としてぞうさん広場のテント増設ができないか。

答 教育長 ぞうさん広場は、自然の生態系を復元したビオトープ



ぞうさん広場

や子供たちが安心して遊べる複合遊具、水遊びができる場所があり、水辺が織りなす安らぎのエリアと人が休まる憩いのエリアから構成された公園で、親子のふれあいの場として多くの方に利用されている。

近年、利用者は増加傾向にあり、この5月には木製のベンチや椅子を増設した。利用者の方からの意見を参考にしながら、この広場に適した日陰用テントの増設を早急に検討していきたい。

議会および行政に対して
いまだ町民の声は厳しい

問 早島町議会は、町民に開かれた議会を目指すため毎年議会報告会を開催し、町民皆さんの多様なニーズの把握に努めてきた。直近の3月議会報告会ではワークショップ形式を取り入れ、テーマに沿って討議をしていただいた。

町長もこれまで町長と語ろうお茶カフェ集会などを通じて町民ニーズの掘り起こしに努め、それぞれにおいて対応されているが、これで十分と考えているのか。

議会および行政に対して、いまだ町民の声は厳しいものがある。町長は所信表明で町民ニーズに即した各種施策を的確に進めると述べているが、改めて町長の見解を求めらる。

答 町長 町民皆さんの意識や関心毎は、時間がたてば変化するものと思っており、ずれが生じないよう適時に皆さんの声を聞くことは重要なことと考えている。

平成28年9月にアンケート調査を行い、優先施策の1番目は子育て支援の充実、2番目は保険、医療の充実、3番目は高齢者福祉の充実があげられ、また早島町への

定任意向については9割の方が早島町にずっと住み続けたいと回答している。

このことは町民意向に沿った町政運営に取り組んできた結果として受け止めている。

問 今後の早島町を見据えたとき私は強みとしてコンパクトな町で小回りが利き、情報伝達が早い。住民、行政職員の顔が見え、知り合いが多い。交通アクセスの利便性、鉄道、道路に富んでいる。一方弱みとして国道北地区の買い物難民、個人商店の衰退、南海、東南海地震における前潟、役場周辺への公共施設の集中、そして朝夕通学路、生活道路への通過車両進入による交通事故の懸念等が考えられる。

町長はこのような強み弱みを政策にどのように反映させていくのか。

答 町長 早島町はコンパクトにまとまった地の利がある過ごしやすいところだと認識している。その反面干拓地であるがゆえ、排水路の問題があり、今年、大川樋門を設けて水のコントロールをさせていた。



小池 宏 議員

問

選挙の公約で早鳥町の特性と魅力を活かす道の駅の現状は

答

何らかの交流施設を民間資本で誘致できたら

問 道の駅は、公約の中で早鳥町の特性と魅力を活かすために国交省と協議を行い、全国に誇れる「道の駅」誘致を図りますとあるが、最近の答弁では、「何らかの交流施設が必要」とものすごくトーンダウンしているが、その後の現状は。

答 町長 残念ながら国交省と協議はしていません。県の道路建設課で聞いたら道の駅は無理とのことなので、何らかの交流施設が民間の資本で誘致できたらと考えている。

まちづくりについて

問 公約で、「その地域が持つ個性と魅力を活かしたまちづくりに取り組みます」とあるが、就任からほぼ3年になるがどういうまちづくりなのか、私には見えない感じがが。

答 町長 今何をすべきか、人を呼び込むためにはどうしたらいいのか、その来た人を基本的に住み

やすい町と思っただけのような、といったそれぞれの方に満足していただける政策をやるのが私の考え。

行財政改革について

問 財政改革が大きく好転することは期待できないとの町長答弁ですが、これまで一般行政経費3%カットなどの改革以外に何かやられる改革があるのか。

答 町長 どこが減らせるのか、統合できるものがあるか、これから検討していきたい。

問 行財政改革で、先般西宮市の市長が、自分の退職金が多すぎると2800万円も要らないから減額しろと、報酬も約2割減らせと言われ、「行政経営を見直す姿勢の導火線とした」とのことだが、町長はどう思うか。

答 町長 それは個々の方の考えなので、それ以上は申し上げようがない。

立地適正化計画

問 国交省で改正都市再生特措法で制度化された、それぞれの地域が持つ個性と魅力を活かしたまちづくりについて、今国交省で立地適正化計画（コンパクトシティを含む）を出されています。本町で今進めています立地適正化計画を早急に前に進めて、はやく補助金をいただけるような仕組みを考えていただきたい。

答 町長 策定中の計画というのは、コンパクトなまちづくりを目指すということで国の方向と合致していると考えている。

環境対策

問 第4次地球温暖化対策実行計画が今年から5年間の目標で策定されたが、これまでと同様に、全公の施設等が対象だ。日本の温暖化対策の中で家庭部門で4割の削減が必要だと言われている。県でも家庭に向けて省エネ対策加速化補助金もある。本町も民間の皆さんに取り組んでいただいて、エココンパクトのまちになるよう取り組んでどうか。

答 町長 本町は策定予定がない。県の策定に倣って取り組みが

浸透していると考えている。

文化財について

問 当町のこれまでに築き上げられて残存されている歴史的な文化遺産の中で現在指定の文化財は34件登録されている。今、文化財はこれまでの保存、保護から活用に拡げる方向に変わっています。本町で残っている文化的な財産を今後どのように活用、どう保護されるのか。

答 教育長 指定していない文化的価値の高いものについては文化財保護委員会で協議し、所有者のご意向を優先しながら作業を進めていきたい。

ふるさと納税について

問 早鳥町のふるさと納税は、県下で下から4番目に少ない寄付額です。現在は企業版のふるさと納税があり、本社がない企業から寄付金があった制度なので、今、早鳥町はお金がないと町長が言われていますので、積極的に企業にお願いをされて資金をつくられたらどうか。

答 町長 ふるさと納税寄付金制度検討委員会で検討していく。

土木委員紹介

土木委員は道路および用排水路等の維持管理と地元の要望・調整ならびに円滑な運営を図ってくださる方々です。(敬称略)



矢尾東
ひらまつ やすゆき
平松 保之



矢尾西
すずき きよし
鈴木 清史



日笠山
かわの よういちろう
河野 洋一郎



若宮
まつい しんいち
松井 新一



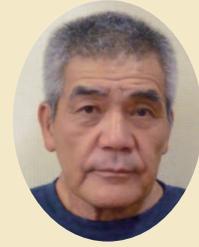
中山・ニュー早島
おおくぼ ひろゆき
大久保 広行



大池
はやし ただし
林 正



金田
せのお つとむ
妹尾 勉



下野
あかき まさる
赤木 優



備南台・噂島
うえでら ひでお
上寺 英雄



塩津
たにもと わたる
谷本 渉



真磯
いぬかい よしあき
犬飼 吉昭



無津
さとう ひろし
佐藤 廣志



市場
すぎはら けんいち
杉原 謙一



塩地・花町
わたなべ まこと
渡邊 誠



小浜・頓行
さわだ つよし
澤田 健



片田・舟本
はら もといちろう
原 始一郎



三軒地・久々原
みぞて たかし
溝手 孝志



弁才天・宮崎
むらかみ つとむ
村上 勉



長津・畑岡
わたなべ やとし
渡邊 八十四



前潟東
のだ けんいち
野田 健一



前潟西
あおば しゅうへい
青葉 宗平

今回の議会だよりが皆様のお手元に届く頃は、秋とは名ばかりの残暑の厳しい時節になります。2014年9月から町民皆様の負託を頂戴し、町政発展に向けて取り組んでまいりましたが本年6月定例会も終わり、任期も残り少なくなりました。多くの地方自治体が消滅するという危機感から始まった、国が進める「地方創生まち・ひと・しごと総合戦略5カ年計画」の取り組みも4年目に入り、このたび国から人材の派遣が決まりました。この機会にこれまでの取り組みの遅れを取り戻すべく、次の世代に繋げられますように町民皆様、執行部、議会がともどもに叡智を結集して前進するときにしたいと思います。4年間誠にありがとうございました。また、新生議会に対しても、変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

編集後記

